

from the center of fountain / almi

1. 夜明け 作詞 梅澤博子 作曲 穴戸圭介
2. オードリー 作詞 梅澤博子 作曲 穴戸圭介
3. ドロップ-drop- 作詞 梅澤博子 作曲 高村尚平
4. ナミダ 作詞 梅澤博子 作曲 奥田知明
5. ALL for NINE 作詞 奥田知明 作曲 奥田知明
6. Sparkle jam' 作詞 梅澤博子 作曲 穴戸圭介
7. Smiling Ripple 作詞 奥田知明 作曲 穴戸圭介
8. ナミダ (acoustic version)

All songs were arranged by almi

almi are...
梅澤博子 on Vocal&Chorus
香田英祐 on Trumpet&Flugelhorn&Horn arrangement
宮崎綾 on Tenor Sax
高村尚平 on Guitar
奥田知明 on Piano&Keyboards
穴戸圭介 on Bass&Percussion
丸山真一 on Drums:
tapi as the staff

Special Thanks: 武藤剛さん(Bloom!), hill, のりく, もんちゃん, きっちー, かっしー, まっきー, Gampom, J.C., 八田直憲, TATTI, tsaka, Jenomoto, くにやん, hossy, なべ

almi the official website: http://almi.jp/
(c) 2007 almi all right reserved.

1. 夜明け 作詞 梅澤博子 作曲 穴戸圭介

昨日泣いていた真っ黒な空が晴れて
虹を抱えて 心の奥深い所を ゆっくり静かに温めたした頃に
顔を上げて そろそろ歩かなきゃ

ほらネ また1つ鈍い痛みにも慣れ始めて
強くなったつもりでいたはずなのに
私が入れたはずの盾はもろく 音を立てて崩れ始める

あの日もそうだ こうして抱えきれない痛みに泣いてたけど
今未来 (ココ)に私はちゃんと立っているよ 自分の力で

私を作るどんな場面の過去も受け入れて大切に育てましよう
傷を抱えたままの私にも 幸せは描けると知ったような夜明け
私を作るどんな場面の過去も受け入れて歩みに変えて行きましよう
傷を抱えたままの私だって 幸せは描けると知ったような夜明け

おぼろげに見てた目の前に広がる
数え切れない程に光り輝く石 蹴どばして
転んでつけた傷 痛くもないのに 座り込んだまま歩けない

やっと手に入れた欲しがってたモノの
不確かさと現実の隙間で振り回されて
小さくなっていく 信じる強さ
サイゴまで枯らさないように力を貯めていた

あの日もそうだ 余計な荷物に両手をとられて指の隙間
こぼれ落ちたダイヤ だけど大事なものを それでも守った

私を包み込む温かい声を 永遠に大切に育てましよう
誰も知らない世界の果てにも 信じれば届くと知ったような夜明け
私を包み込む温かい声を 永遠に大切に育てましよう
海を越えた世界の果てにも 願えば届くと知ったような夜明け

REPEAT

2. オードリー 作詞 梅澤博子 作曲 穴戸圭介

灰色の中でぼやけてる未来 手を伸ばした瞬間
消えてなくなる夢の泡 ふわり
虹色のレンズで覗いた 時の中を泳いでる
キレイなだけじゃない色を 今も探してる

この体 この声この指も心も 粉々に碎けて思うまま飛んで行け

やがて長い夜と別れて 次のステージへ向かう
見上げた空に残る月 白く
小説の最後のページは 何も書かれてはいない
終わらせるにはまだ早いと 叫ぶ声がする

その体 その声その指も心も づまいいて
そして僕を救ってくれると..

擦り切れて行く 数え切れぬ程の 涙の跡さえ いくつか輝くと
きっと

この体 この声この指も心も 新しい名前を刻み付けて Ah
この体 この声この指が全てが 導いた答えと信じて守り抜くの

3. ドロップ-drop- 作詞 梅澤博子 作曲 高村尚平

碧 (あお)い風 光りの中弾け飛んだ 閉じていた窓を開けた
その瞬間 どこかで昨日が手を振ってサヨナラをする

どこまでも続く こんなに広い空の下
小さなカケラを抱いた私たちがいる

窓の外 鮮やかな色の木の影が揺れるのを見てた
もう 頬を吹き抜けて行く風は 少し冷たいけど

指先が冷えるような夜だけど Ah
こんな日は星がキレイだから 空を見上げた

見慣れた大地を蹴って さあ船をこぎ出そう
例え 今を愛すコトで精一杯な時も
甘い朝に 今日抱かれたまま腕の中
眠る幸せと共に 行けるなら自由な海へ

鳥達が 会図と共に飛び出した 空に色が染え渡る
今日もまた どこかで太陽が手を振ってオヤスミをする

どこまでも続く こんなに広い海の上
可能性を秘めた 宝石を散りばめて

淋し気に朱く空が染まってく Ah
澄んだ空と夜に明かりが点り始める

見慣れた大地を蹴って さあ船をこぎ出そう
例え 今を愛すコトで精一杯な時も
光り溢れた その中に潜む明日への夢を
抱きしめたまま 行けるなら 遥かなる空へ

(on Pianica: 梅澤博子)

今日も 明日も これからの分からない未来も - 行こう-

REPEAT

4. ナミダ 作詞 梅澤博子 作曲 奥田知明

桜 胸の中まで咲き乱れて
涙さえ吸い込んで行く
寄り添っていたはずの僕等の未来が
音を立て動き出した

降り出した雨の中で
残されたわずかな時間の中で

静かに にぎりしめた手のひらから
キラキラ 思い出は止めどなく溢れて行く
今 何を想って 望めばいい
サヨナラ いつかまた会えると思じて
今は手を振ろう

桜 胸の中まで咲き乱れて
全てを淡く染めて行く
流した涙が意味を持ち始めて
永遠に輝けるように

薄れて行く記憶の奥 掴めないもどかしさの中に

静かに そっと揺れる花びらから
ハラハラ 思い出は止めどなく溢れて行く
今 何を残して 刻んで行こう
サヨナラ いつかまた会える時まで
今は手を振ろう この場所から

静かに にぎりしめた手のひらから
キラキラ 思い出は止めどなく溢れて行く
今 何を想って 望めばいい
サヨナラ いつかまた会えると思じて
今は手を振ろう この場所から

5. ALL for NINE 作詞 奥田知明 作曲 奥田知明
(Friends Chorus: Taken at Hiyoshi 206 Studio on 13 July, 2007)

7つの光を受けて 輝き出す僕らは虹
指さした空の向こう 青い月に支えられて
7つの海を飛び越え 輝き出す僕らは虹
指さした目の前には 無数の燃える太陽

一つ一つの恒星 (ほし)から ここに感じるチカラ

祈りと (one!)
願いと
想いを (two!)
叫んで
almi-ghty (three!)(four!)
almi-ghty (five!)(six!)
almi-ghty (seven!)(eight!)
almi-ghty (nine!)

ALL for NINE!!

6. Sparkle jam' 作詞 梅澤博子 作曲 穴戸圭介

真夜中に飛び出した 青白く光る街で
足が軽くなるような感覚に捕われて

肌を刺す程強く 照らし出すライトの
限界に目を凝らし走り続ける

恐怖感を差し引いても残る前への力が
目眩の中 ハンドルを握りしめているから
欺いたはずの地図 振り返る意味もない月明かり
刺激された止まらぬ鼓動

このまま誰にも見つからない場所へ 隠れてしまおう
どうせ明日も今日と同じ

夢も希望も成り立たない世界なら抜け出して いつの日か
光が降りる場所を見つけるまで眠ればいい

果てず続くものは闇よりも深くきまると影
ふと躊躇った瞬間に 突き刺さるゼロの重み
もう何も失うものなんてないはずなのに 踏み込めない
探している出口はどこ?

このまま誰にも見つからない場所へ 逃げてしまおう
どうせ明日も 今日と同じ
愛も祈り先かき消される世界なら抜け出して いつの日か
光が全て救う時まで じっと待てばいい

走れ暗闇に揺れる音響かせて
まぶしく夜の闇切り裂いてく
坂道だって wow フルスピード 勇気1つで変えて行ける
いつか涙はそれで乾いて そこに光が射す

坂道だって...
いつか涙は...

そして光が射す

7. Smiling Ripple 作詞 奥田知明 作曲 穴戸圭介

いつもより ほんの少しだけ 目覚めが良くて ほら
前向きになれそうな 気がしはじめてくる朝
昨日より 明日へと続く みんながもらった 今という名のプレゼント

ピンと張りつめた 湖面に勇気ひとつ持つって
微笑みの小石 (つぶて) 空を見上げて投げ込んで

広がれ広がれ 微笑みのチカラ
伝われ伝われ 波の輪描 (えが)いて
広がれこの空へ 虹の橋掛けて
広がれもっと広がれ 青空満たして

いつもより ほんの少しだけ "頑張れ"って言葉 素直に
受け止められそうな ちょっと遅めの昼休み
見た目より そんな強くない
でも期待されるってことはやっぱり悪い

あの日の 16 時 35 分 (ゆがた) 心地いい空と風のように
どきどきのキモチ 出会うみんなに伝えたい

つながれつながれ 笑顔とエゴオ
集めて集めて 輝きを増して
伝われ彼方へ 無限のチカラ
広がれもっと広がれ 世界を満たして

広がれ広がれ 微笑みのチカラ
伝われ伝われ 波の輪描 (えが)いて
広がれこの空へ 虹の橋掛けて
広がれもっと広がれ 青空満たして

8. ナミダ (acoustic version)

rise in the rainbow / almi

1. rise 作詞 小口尚子、梅澤博子 作曲 高村尚平
2. settle 作詞 梅澤博子、奥田知明 作曲 穴戸圭介
3. G.E. 作詞 穴戸圭介 作曲 穴戸圭介
4. Switch 作詞 小口尚子 作曲 穴戸圭介
5. ポクダチガミタモノ 作詞 小口尚子 作曲 穴戸圭介
6. Black Moon 作詞 梅澤博子 作曲 高村尚平
7. ひまわり 作詞 坪井理絵 作曲 穴戸圭介
(Friends Chorus was taken at Hey-JOE, 8 January, 2006)
8. ambiguous noise 作詞 小口尚子 作曲 穴戸圭介
(LIVE@FOURVALLEY, 23 July, 2005)

Special Thanks: 武藤剛さん(Bloom!), 星さん(Hey-JOE), imai っち、
コーラスに参加してくれた皆さん(みっちゃん、スヤマ、矢野義人、
てぶこひかーり、SS、arc-it、ゆか、Shin3000、(≡^。^≡)にやー、
一年前のサックス、日下善雅(本家の長男)、tapi、いのびん、大地!、JIMA、がちゃびん、hirari、yooko、田中大祐、ゆっきい、
みるみ、mitacky、ゆきみ、たかの'奥田命"としゆき、黄　色)

1. rise 作詞 小口尚子、梅澤博子 作曲 高村尚平

瞳を開けて 明日に 光ある夢を見よう
ささげるものはない 全てが ここから今 始まり出す

光求め 願っている様な 憂いの人
今日の雨の粒が重過ぎる 訳ではないのに

背中のかげらを 私に預けて
さあ息1つ吸って 痛みささええにして はばたこう

瞳を開けて 明日に 光ある夢を見よう
ささげるものはない 全てが ここから今 動いて行く

失くした翼なら想いが つのるほどに温かさを
取り戻して新しい力に 生まれ変われるのだろう

失った影求め泣いている 女の子
昨日の太陽が奪っていった 訳ではないのに

右手のかげらを私に預けて
さあ息1つ吸って 弱さも道連れにして はばたこう

瞳を開けて 明日に 光ある夢を見よう
ささげるものはない 全てが ここから今 動いて行く

一番奥に灯るいくつもの可能性を今
温かいこの泉にこっそり解き放して

瞳を開けて 明日に 光ある夢を見よう
ささげるものはない 全てが ここから今 始まり出す

少し力抜いて 深く息を吸って 前向いて歩いて行こう
ささげるものはない この手に 確かなものを握りしめて

2. settle 作詞 梅澤博子、奥田知明 作曲 穴戸圭介

あなたは光 私はいつも 同じ場所で止まって 空さえ仰げずに

今日も重い空の下 地平線も臨めない
世界みんな 地に足を着けた鳥

僕は光 君だけを照らすために生まれてきた光
でもその光は その中までは届かない
そこを飛び出し そのカゴのあまりの小ささを見ればいい
君の本当の 居場所はそのなかか? 確かめよう

飛べずにいるのか 目の前の扉はもう開いているのに
暗いカゴの中 空が晴れている事にも気づかない

あなたは光 私はいつも 同じ場所で止まって
空さえ仰げずにいるのに
遠くから聞こえる 雨もやがて 私を残して 空へと帰る

無くした心の隙間に 雨の音流れ込んで
濁いた鳴き声で 見つけて欲しいと叫ぶ

僕はもう ずっと前から君のことを見てる
君の意志で 光の届く場所に出てきて
そのカゴを 未来の自分から眺めてみよう
自分は今 光輝いているか? 確かめよう

飛べずにいるのか 本当はもう帰はすでに癒えているのに
暗いカゴの中 空が泣いている事にも気づかない

あなたは光 失くした勇気を もう一度取り戻して 全てを見たい

凍え縮こんだ 翼の力強さをまだ覚えてる
また風を読んで 瞳閉じて 幸せの空を描く

あなたは光 小さな手を引いて 私を空高く 導く光 Oh

あなたは光 幸せの空を 私だけの世界で 自由に飛べる

あなたは光
(# もがいている 君がいる だけど決して後ろ向きじゃない)
色どりの
(# 簡単に 手に入る自由は本当の自由じゃない)
パレットを開いて
(# 僕は光 君だけを照らすために生まれてきた光)
空へと解き放て
(# 君の意志で 光の届く場所に出てきて)

あなたは光
(# 僕は光 君だけを照らすために生まれてきた光)

3. GE. 作詞 穴戸圭介 作曲 穴戸圭介

海底都市のような 雨上がり 空 雲
東の海でずっと 虹を待てる 鳥

さっき誰かが かけて来た
電話のベルはもう 聞けない
切り離された世界で

今夜何処かで開く 花びらは 夢 蒼
南の風はそっと 時を盗んで ゆく

世界は 色を無くして きっかけを 明日に押し付ける
もう少し 近づけたなら 言葉は どあえず

深夜の列車 今すぐ乗って 行き先気にせずに
行けるとこまで 行くつもりなら それが最後になる

見たことも無い でも懐かしい 飛び去ってく景色
もう少しだけ 見ていられたら 次の駅で会おう

夜を斜めに昇る 線路沿い 夏 星
西の山ではずっと 月が囚われている

体は 重さを無くして きっかけは 今日からすり抜ける
もう何も いらないのなら 笑顔は どあえず

深夜の列車 今すぐ乗って 行き先気にせずに
行けるとこまで 行くつもりなら それが最後になる

見たことも無い でも懐かしい 飛び去ってく景色
もう少しだけ 見ていられたら 次の駅で会おう

深夜の列車 今すぐ乗って 行き先気にせずに
行けるとこまで 行くつもりなら それが最後になる

その最後の会話 忘れないけど もうなにも見えなくて
目が覚めた時 知らん顔した 朝焼けにさよなら

4. Switch 作詞 小口尚子 作曲 穴戸圭介

その光る足跡を追いかけて ふいに足を そろえたほんの一瞬
一面を黒く染めてゆき 暗闇に 隠れたあいつが近づく

何もかもが薄れ ぼやけたとしても
君のその指が 全てを知ってるかもしれない

立ち止まった時は 右側にあるボタンを
そっと押してみても きっと君は超えていける
傷ついた時は 左側にあるボタンを
そっと押してみても きっと君は歩いていける

闇の中に消えた足跡 ねえ君は今どこで何をしている?

そっと手を伸ばして感じてよ ほら光に 隠れたあいつが近づく

一筋の光がまっすぐ差込んで 君のその指が全て導くの

立ち止まった時は 右側にあるボタンを
そっと押してみても きっと君は超えていける

立ち止まった時は 右側にあるボタンを
そっと押してみても きっと君は超えていける

いつもいつの時も 目の前にあるボタンを
ぐっと押してみても きっと君はうまくいくはず

そっと押してみても

5. ボクたちガミタモノ 作詞 小口尚子 作曲 穴戸圭介

この空に何が見える? めくるめく青さの中に
僕だけが見たものは きっと今ここに

ふとした瞬間に 手を離したら先が見えるかもなんて思っても
目の前にあるアマエとヤサシサの隙間ではまたぶなだれる
いつもの風景を塗りつぶして自分だけ別の色を求めて
そしてさまよい歩き続けて向こう側の壁そっと見つめる

深い深い悲しみに包まれても また羽ばたけることを信じて
心の中の羽を集めて 手のひらにおさめて

あの空に何が見える? きらめいた虹の中に
君だけが見たものは きっと今ここに

少しの裏切りと期待を求めて 僕はあてもなくまた旅に出た
そしてたどり着き目にしたのは あの時あの場所で光っていた

広い広い憎しみに包まれても また羽ばたけることを信じて
心の中の羽を集めて 手のひらにおさめて

あの空に何が見える? きらめいた虹の中に
君だけが見たものを 今そこに探しに行こう

言葉にできない今日の空は ただただ見つめることしか出来ず
僕は踏み出した ちょっとだけ進もう

この空に何を見よう? 虹色の光と共に
僕達が見たものは...

6. Black Moon 作詞 梅澤博子 作曲 高村尚平

太陽が今日を連れ去り 眠る心にほろ月明かり灯る
口びる 伸びる 五線上 泳いでいるのは二つの影 揺れて
口びる 伸びた Rouge 紅く誘ふ素振り それは明日のない感情

天(あま)を抱く腕で 闇夜を連れて来て
白く照らされて すくに見つかる様に

解いた体に偽り垂らして 心ない笑顔でそっと触れた熱い指
抱き合った体に残り香は巡る 月夜に浮かび咲く 沈黙破る赤は花

切り裂いた胸に 少女のあどけなさ 開く目の奥に静寂と甘いワナ

突き出す温もりに言葉なんてない くぐれたタバコに残る浮気な線
高ぶって捉らえた快楽のリズム
墮ちて行く先は crazy 手を伸ばし溺れればいい

この夜に溶ける赤に交わるぬ月 息もせず口びる落ちる愛のしずく
Ah - 散る花は魅惑の黒 心まで 焼き尽くすカゲロウ(暢気)

7. ひまわり 作詞 坪井理絵 作曲 穴戸圭介

バラツバツバ バツパー

階段を駆け降りる 靴音 窓の外の笑い声
何となく過ぎて行く 毎日にオアシス見つける

あれ友達に そっと手を引かれ 背中 手を振る 君を見てた
ガラスの向こう 奏でる音 ふっと吹く風に ハラリハラリと
Fu...

明日は晴れるさ 落とした涙より強く
明日も晴れるさ あれ今日も また同じ笑顔に包まれている

バラツバツバ バツパー

鳴り響く電話のベル ひど呼吸おいて 笑顔溢れだす
何気ない言葉さえ 何より先力に変わるよ

あれ君の手に 歩幅合わせ 届かない手 空を見上げた
同じ笑顔は もう出来なくても ぐっつきだす気持ち ハラリハラリと
Fu...

repeat

雨上がりの午後 日差し差し重なる影 揺れて
流れて行く道 少し不安を隠せず

夕暮れの帰り道 流れる風の音の色も
交わした言葉に 流した涙の行方も
君の笑い声 みつめる瞳の深さも
いつしか色あせて 心の箱は狭すぎて

明日は晴れるさ 落とした涙より強く
明日会えたなら あれ今日も笑ってる

バラツバツバ バツパー

8. ambiguous noise 作詞 小口尚子 作曲 穴戸圭介

今夜 この肩を包む温度 それは あなたのその背中語る純粹
やがてふとひと瞬ついた時 それは 忘れた心を深く刺すでしょう

時に溺れる かけがえのないもの
抱えていても きっと先は行き止まり

そして 今夜この唇に触れた あなたの その吐息語る真実は嘘

今を凌ぐだけの感情論を 唱えさどす夢 心はどこへ行くのでしょうか

胸に溢れて 抑えきれないもの
抱えていても 幕が降りて消えるだけ

揺れる音 もしあなたに聴こえたら
その声を今 私に響かせて
触れる風 もしあなたが感じたら
その腕で今 私の中響かせて

揺れる音 もしあなたに聴こえたら
その声を今 私の中響かせて